

## 安全データシート

作成日:2017年6月10日 改定日:2023年3月30日

改定内容:2021年 化管法によるPRTR制度対象物質の改訂に対する対応

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 研磨パッド 高耐久・高研削 #320  
 会社名 : 株式会社MonotaRO  
 住所 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
 担当部門 : 商品お問合せ窓口  
 電話番号 : 0120-443-509  
 先FAX番号 : 0120-289-888  
 緊急連絡先 : 所在地と同じ  
 整理番号(SDS No.) : 230403  
 推奨用途及び使用上の制限 : 研磨、汚れ落とし

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高压ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	区分に該当しないが着火源があれば燃える	
	自己反応性化学品	区分に該当しない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	
	自己発熱性化学品	区分に該当しない	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	区分に該当しない	
	有機過酸化物	区分に該当しない	
	金属腐食性物質	区分に該当しない	
	鈍性化爆発物	区分に該当しない	
	健康有害性	急性毒性(経口)	区分に該当しない
		急性毒性(経皮)	区分に該当しない
		急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)		分類できない	
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)		区分に該当しない	
皮膚腐食性/刺激性		区分に該当しない	
目に対する重篤な損傷性/目刺激性		区分に該当しない	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		区分に該当しない	
発がん性		分類できない	
生殖毒性		分類できない	
環境有害性	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	酸化アルミニウムは区分3(気道刺激性)に該当する 酸化鉄は区分1(呼吸器)に該当する	
	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	酸化アルミニウムは区分1(肺)に該当する 酸化鉄は区分1(呼吸器)に該当する	
	誤えん有害性	分類できない	
	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない	
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない	
	オゾン層への有害性	分類できない	

## GHSラベル要素

絵表記又はシンボル



注意喚起語 : 危険、警告

危険有害性情報 : 研磨作業中に発生する粉じんには呼吸器への刺激の恐れがある。  
長期又は反復曝露(吸入)による肺の障害

注意書き

- 【安全対策】 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
粉じんを吸入しないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
取扱い中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 【救急処置】 : 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断・手当てを受けること。  
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断・手当てを受けること。
- 【保管】 : 直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で、水濡れや破損しないように梱包箱に入れて保管すること。
- 【廃棄】 : 内容物や容器等は関係法令に従って、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

一般名 : 不織布研磨材

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分	含有率(%)	化学特性	CASNo.	官報公示整理番号
酸化アルミニウム (研磨材)	45~55%	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1344-28-1	化審法番号: 既存1-23 安衛法通知政令番号 : 189
合成樹脂接着剤 (接着剤)	非公開		該当せず	
不織布(化学合成繊維) ナイロン等 (基材)	非公開		該当せず	
酸化鉄 (着色剤)	0.1%以下	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1309-37-1	化審法番号: 既存1-357 安衛法通知政令番号 : 192 水質汚濁防止法 : 52号

備考 : アスベスト(石綿)は使用していません。

## 4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと。  
皮膚を速やかに洗浄すること。  
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば指を喉に差し込んで吐き出させ直ちに医療処置を受ける手配をすること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : 吸入の場合、咳。

最も重要な兆候及び症状	眼の場合、発赤。
応急措置をする者の保護	: 情報なし。
医師に対する特別注意事項	: 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
	: 情報なし。

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 本製品は、無機物と有機物から成り無機物の研磨材は不燃性。 水、泡、二酸化炭素、粉末等の周辺の状況に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: 情報なし。
特有の危険有害性	: 燃焼または熱分解時に刺激性の強いガスが発生する恐れがある。 CO、HCN、NH <sub>3</sub> 等が発生する恐れがある。
特定の消火方法	: 危険でなければ、火災区域から移動させ、周辺に散水し冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、適切な呼吸用保護具を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	: 漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
除去方法	
回収	: 漏出物を掃き集めて密閉できる空容器に回収する。
廃棄	: 回収した漏出物は「13.廃棄上の注意」に従って廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う事が望ましい。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う事が望ましい。
安全取扱い注意事項	: 適切な保護具(保護手袋、安全眼鏡、長袖の着衣等)を着用する事が望ましい。
火災、爆発の防止	: 火や熱源のそば、高温になる場所に放置しないこと。 研磨粉塵による粉塵爆発、研磨火花による火災が発生することがある為、適切な集塵、集塵装置の清掃、防火装置の設置が望ましい。
保管	
適切な保管条件	: 梱包箱に入れ、直射日光、高温高湿を避け、換気の良い涼しいところで保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度:	日本産業衛生学会(2022年度版)
酸化アルミニウム	: 第1種粉塵 吸入性粉じん 0.5mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 2mg/m <sup>3</sup>
合成樹脂接着剤	: 第3種粉塵 吸入性粉じん 2mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 8mg/m <sup>3</sup>
不織布(化学合成繊維)	: 第2種粉塵 吸入性粉じん 1mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 4mg/m <sup>3</sup>
酸化鉄	: 第2種粉塵 吸入性粉じん 1mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 4mg/m <sup>3</sup>
設備対策	: 局所排気装置を設置する事が望ましい。
保護具(製品使用時)	
呼吸器の保護具	: 粉じんマスクを着用する事が望ましい。
手の保護具	: 保護手袋を着用する事が望ましい。
眼の保護具	: 保護眼鏡を着用する事が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	: 帯電防止性能を有する保護衣(長袖)及び安全靴等の保護具を推奨する。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状/色/臭いなど: 固体、赤茶色、無臭		
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲:			
沸点	: 適用外	融点/凝固点	: データなし
引火点	: 適用外	発火点	: 適用外
蒸気圧	: 適用外	比重(密度)	: データなし
溶解性		分解温度	: 適用外
水に対する溶解性	: 適用外	爆発特性	: 適用外
		可燃性	: あり

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 安定
危険有害反応性可能性	: なし
避けるべき条件	: 粉じんの発生、拡散。
混触危険物質	: なし
危険有害性のある分解生成物	: データ無し。

## 11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	: 繰り返しの皮膚への接触は体質によって荒れる事がある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんが目に入ると炎症を起すことがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 酸化アルミニウム      GHS分類 区分3(気道刺激性) 酸化鉄                      GHS分類 区分1(呼吸器)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: 酸化アルミニウム      GHS分類 区分1(肺) 酸化鉄                      GHS分類 区分1(呼吸器)
誤えん有害性	: 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは呼吸器系を刺激することがある。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし	残留性・分解性	: データなし	生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし	オゾン層への有害性	: データなし	その他	: 知見はない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関係法令並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 梱包容器は洗浄してリサイクルするか、関連法令並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報: 非危険物	航空規制情報: 非危険物
国内規制	
陸上規制情報: 規制なし	海上規制情報: 非危険物      航空規制情報: 非危険物
特別の安全対策	: 乱暴な取扱いを避ける。梱包容器が破損、水濡れ、異物混入、汚損及び破損しないような輸送方法を取ること。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 通知対象物・酸化アルミニウム (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (政令番号 第189号) 通知対象物・・・酸化鉄 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (政令番号 第192号)
水質汚濁防止法	: 通知対象物・・・酸化鉄 (政令第3条の3第52号)

## 16. その他の情報

本文書は製品の取り扱い、実作業、保管、輸送、及び廃棄を安全に行う目的で作成したもので、その品質を保証するものではありません。危険、有害性の評価は、必ずしも十分とはいえませんので取り扱いには十分注意して下さい。保護具に関する詳細については、(社)日本保安用品協会にお問合せ下さい。

参考文献	: 国際化学物質安全性カード(ICSC) 安全衛生情報センター 作業環境保安基準 (社)日本化学物質安全・情報センター GHS関連情報 法令データ提供システム(電子政府e-Gov)
------	---

(独)製品評価技術基盤機構  
化学物質管理者研修資料集(中央労働災害防止協会)  
ポリマーの難燃化(西沢仁 著 (株)大成社)  
その他関係各社提出資料

---

本安全データシートは、現時点で信頼し得る資料に基づいて、製品に関する適切な取扱いを安全に行うことを目的に作成した参考情報であり、製造者及び製品の品質を保証するものではありません。ユーザー各位は、これを参考にして自らの責任において使用条件に基づいた適正な安全管理にお役立ていただき、適切な措置をお取り下さるようお願い致します。